



しまだかなや はっさし おおじろ
国道1号 島田金谷バイパス 旗指IC～大代IC
4車線化開通 1ヶ月後の交通状況

令和7年3月7日(金)に国道1号島田金谷バイパス 旗指IC～大代ICが4車線化開通しました。
開通後の交通状況をとりとめたので、お知らせします。

<概要>※

※いずれも朝夕ピーク時

【開通区間・並行路線の速度向上】

- 開通区間・並行路線の朝夕のピーク時の走行速度が向上
- 開通区間の通過時間が約 11 分短縮
- 並行路線の通過時間が約 4 分短縮

【開通区間の IC ランプ部・並行路線の渋滞緩和】

- 並行路線の大井川渡河部では、渋滞が約 570m減少

<期待される効果>※

- 新東名へのアクセス圏域が拡大することで、物流の円滑性・利便性が向上

配布 先： 浜松市政記者クラブ、島田記者クラブ

問い合わせ先： 国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所

副所長 山本 進一 / 計画課長 池田 順一郎

TEL: 053-466-0117

つながる中部42.6

令和7年夏頃までに開通する各道路事業の整備効果や開通に向けての進捗状況など積極的にPR



2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステムの実現を目指す

World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETWORK



道路の異状を発見したら…道路緊急ダイヤル #9910 (通話料無料・24時間受付)

LINE からの
#9910は
コチラ▶

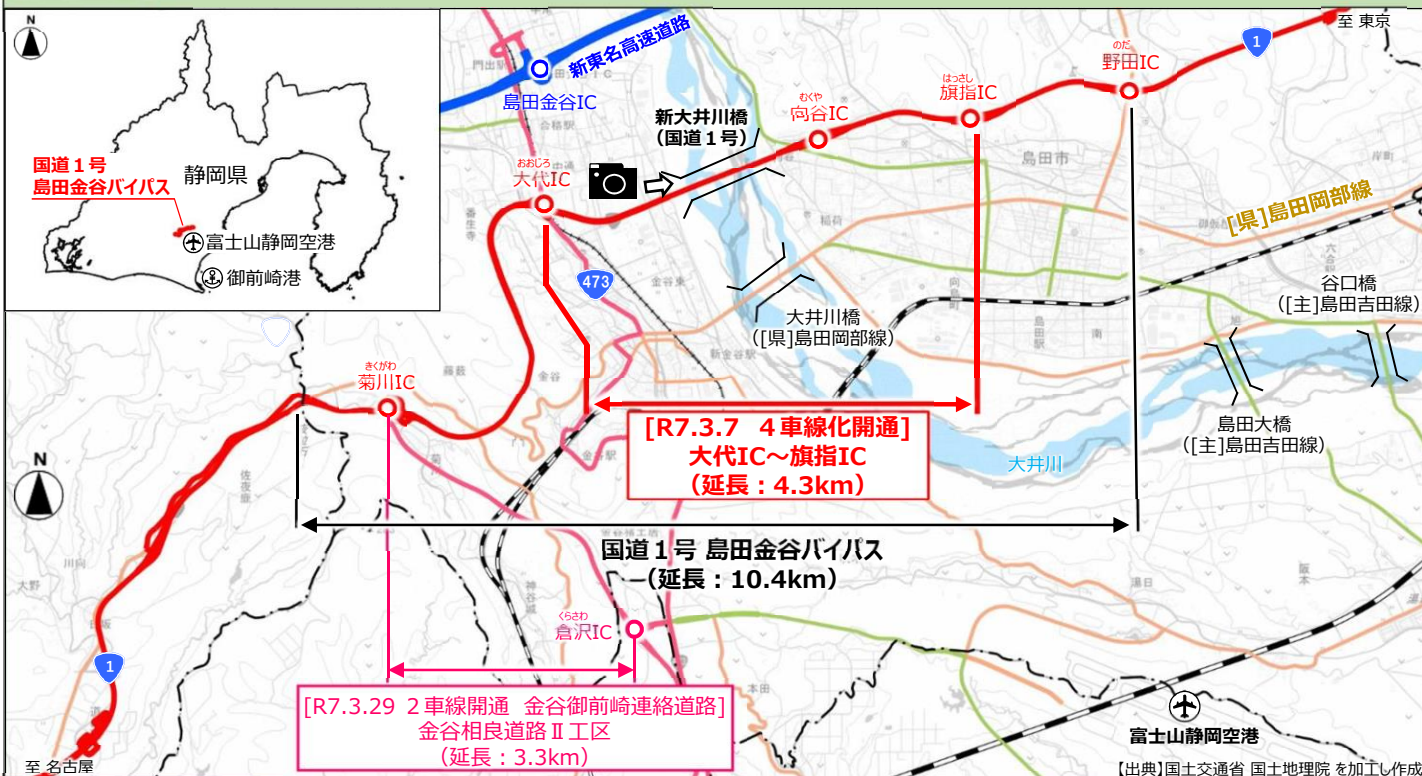


国道1号島田金谷バイパスの事業概要

別紙1

- 大井川渡河部は交通のボトルネックとなっており、朝夕のピーク時を中心に激しい渋滞が発生しています。
- 新東名高速道路の開通により、島田市街地から島田金谷ICへのアクセスルートになるとともに、周辺には富士山静岡空港・御前崎港といった広域物流拠点が立地していることから、静岡県内の物流・人流の要所であり、陸・海・空を結ぶネットワーク強化が求められています。
- これらの問題解消に向け、平成24年度に島田金谷バイパスの4車線化が事業化され、令和7年3月7日に、旗指IC～大代IC間（延長4.3km）が4車線で開通しました。

《位置図》



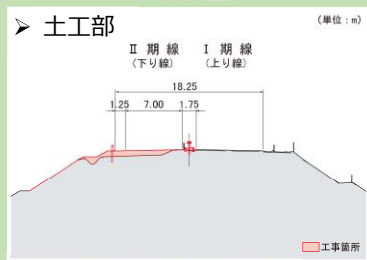
《4車線化後の状況》



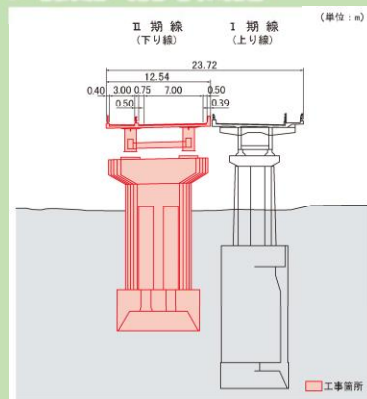
《完成報告会の様子》



《標準断面図》



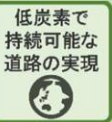
➢ 橋梁部（新大井川橋）



開通区間・並行路線の速度向上

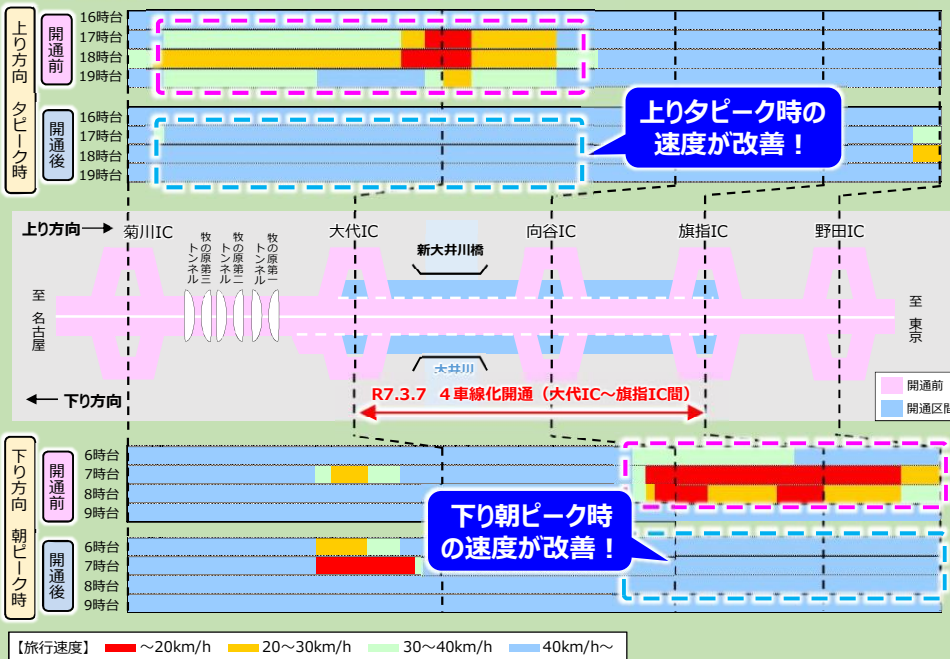
- 4車線化整備により、島田金谷バイパス（菊川IC～野田IC）及び並行する[県]島田岡部線（金谷扇町交差点～中溝町交差点）の旅行速度が向上、所要時間が短縮しています。
- 地域一体の道路走行における円滑性・快適性の向上に寄与しています。

WISNET2050への対応



《開通前後の旅行速度変化》

【開通区間】島田金谷BP（菊川IC～野田IC）

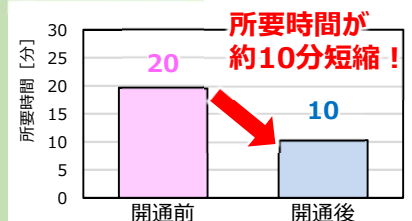


【出典】ETC2.0プローブデータ 開通前：R6.10平日、開通後：R7.4.21～25

《開通前後の所要時間変化》

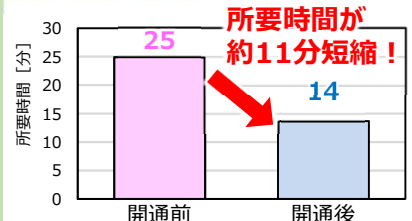
■島田金谷BP（菊川IC～野田IC）

【上り タピーク時】



【出典】ETC2.0プローブデータ 開通前：R6.10平日 18時台 開通後：R7.4.21～25 18時台

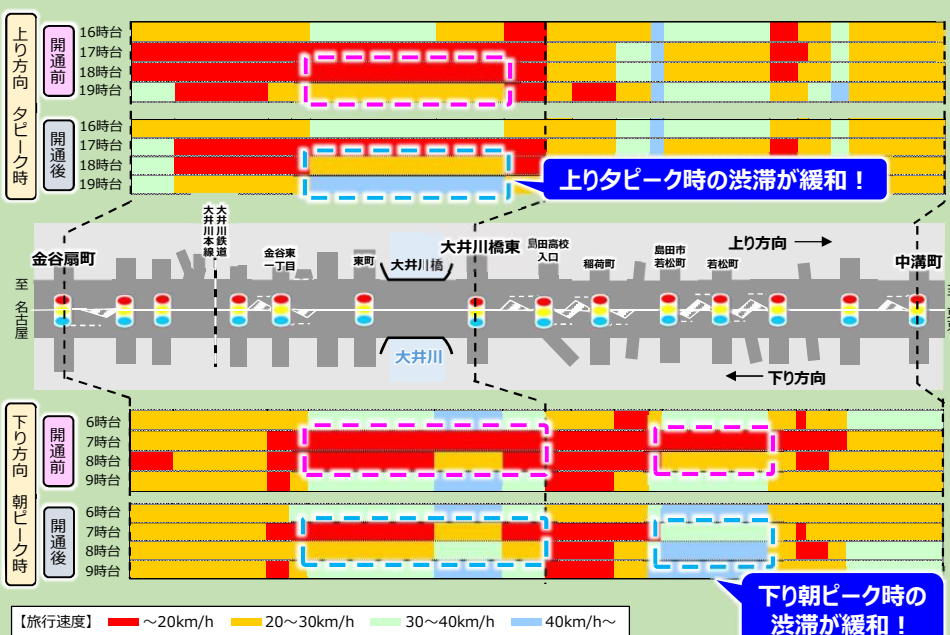
【下り 朝ピーク時】



【出典】ETC2.0プローブデータ 開通前：R6.10平日 7時台 開通後：R7.4.21～25 7時台

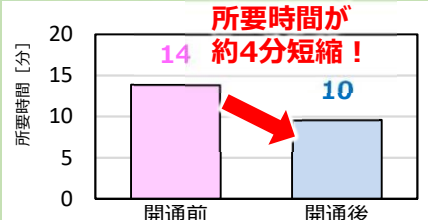
【並行路線】[県]島田岡部線
（金谷扇町交差点～中溝町交差点）

■[県]島田岡部線
（金谷扇町交差点～中溝町交差点）



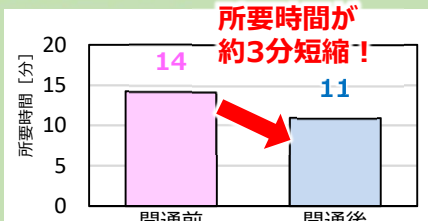
【出典】ETC2.0プローブデータ 開通前：R6.10平日、開通後：R7.4.21～25

【上り タピーク時】



【出典】ETC2.0プローブデータ 開通前：R6.10平日 18時台 開通後：R7.4.21～25 18時台

【下り 朝ピーク時】



【出典】ETC2.0プローブデータ 開通前：R6.10平日 7時台 開通後：R7.4.21～25 7時台

開通後の整備効果

並行路線の渋滞緩和

- 4車線化整備により、並行する[県]島田岡部線において、^{しまだおかべ}大井川橋東交差点の最大渋滞長が北向きで100m、西向きで570m減少するなど、^{おいがわばしひがし}並行路線の渋滞が緩和しました。

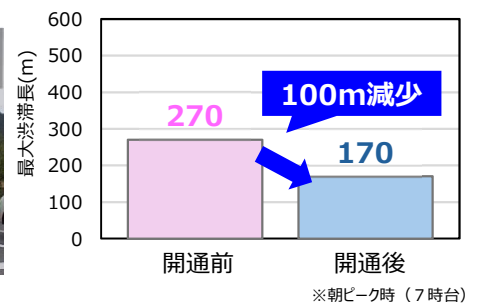
WISNET2050への対応

経済成長・
物流強化低炭素で
持続可能な
道路の実現

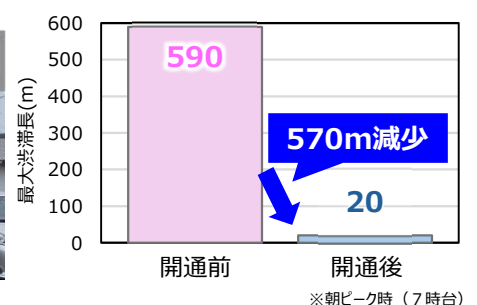
《開通前後の渋滞状況変化》

【出典】渋滞長調査結果 開通前: R6.11.28、開通後: R7.4.22

■ 大井川橋東交差点 (北向き)



■ 大井川橋東交差点 (西向き)



◆物流の円滑化・利便性の向上◆

新東名アクセス性や東西・南北物流の強化 ～紙・パルプ産業等の活性化！～

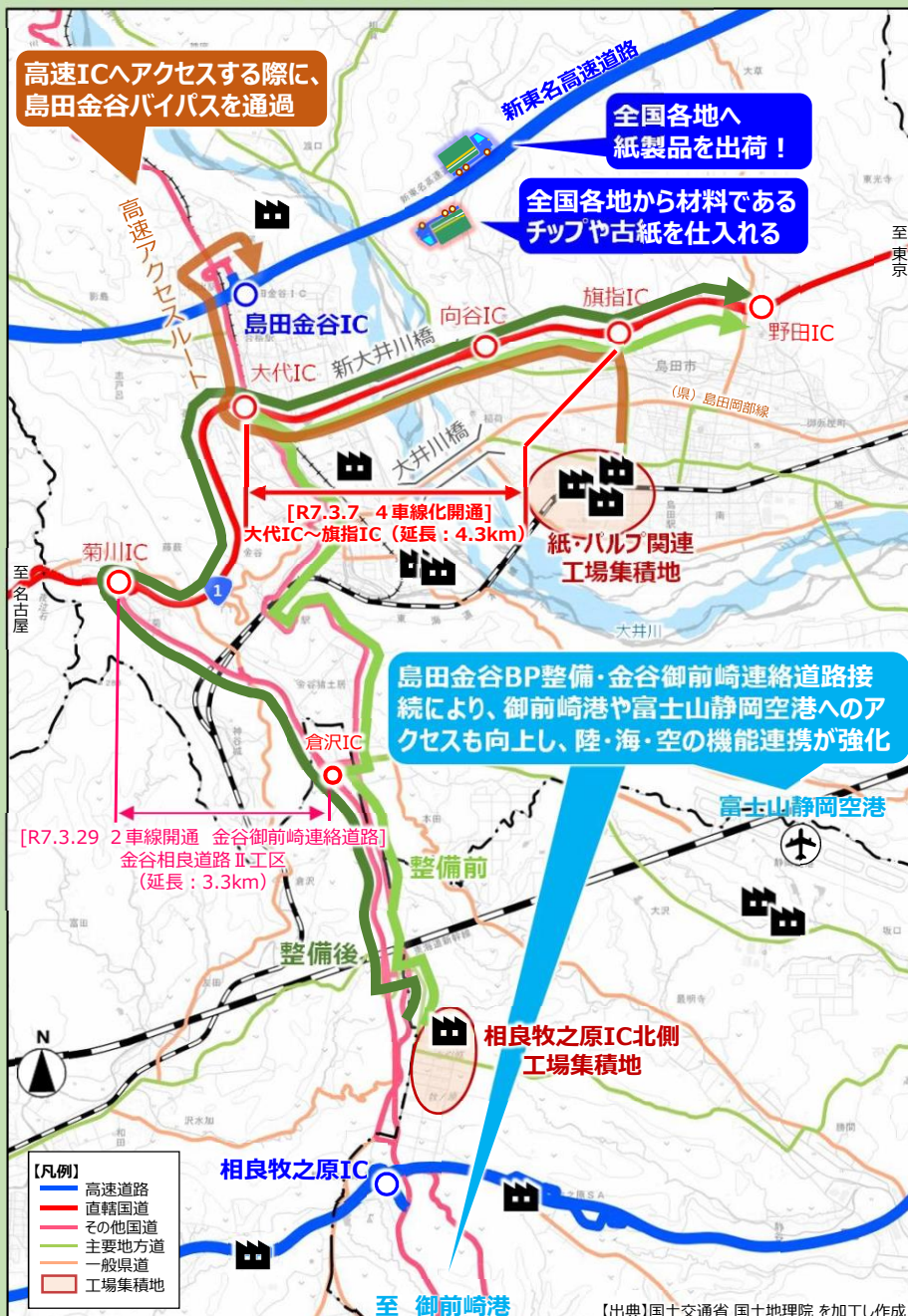
- 紙・パルプ等の製造業が盛んな地域で、道路ネットワークが物流面で重要な役割を担っている。
- 新東名（島田金谷IC）へのアクセス圏域が拡大することで、物流の円滑性・利便性が向上。
- 工場集積地から藤枝方面の所要時間について、金谷御前崎連絡道路の開通との相乗効果で所要時間が短縮し、物流の速達性が向上。

WISENET2050への対応

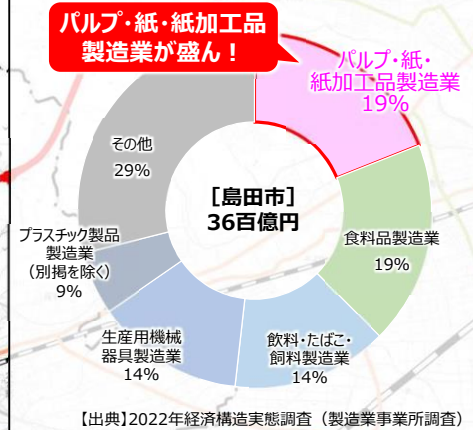
経済成長・
物流強化



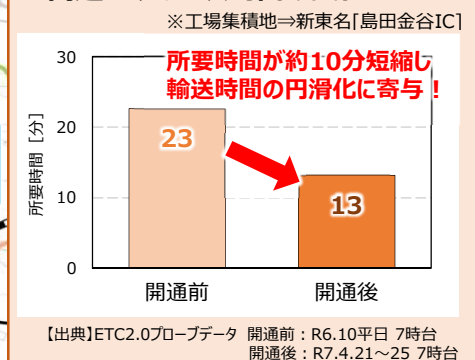
《周辺地域における東西・南北物流の強化》



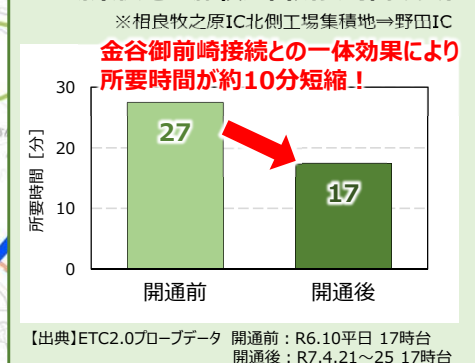
製造品出荷額等の内訳



高速ICアクセス時間の変化



工場集積地→藤枝方面所要時間の変化



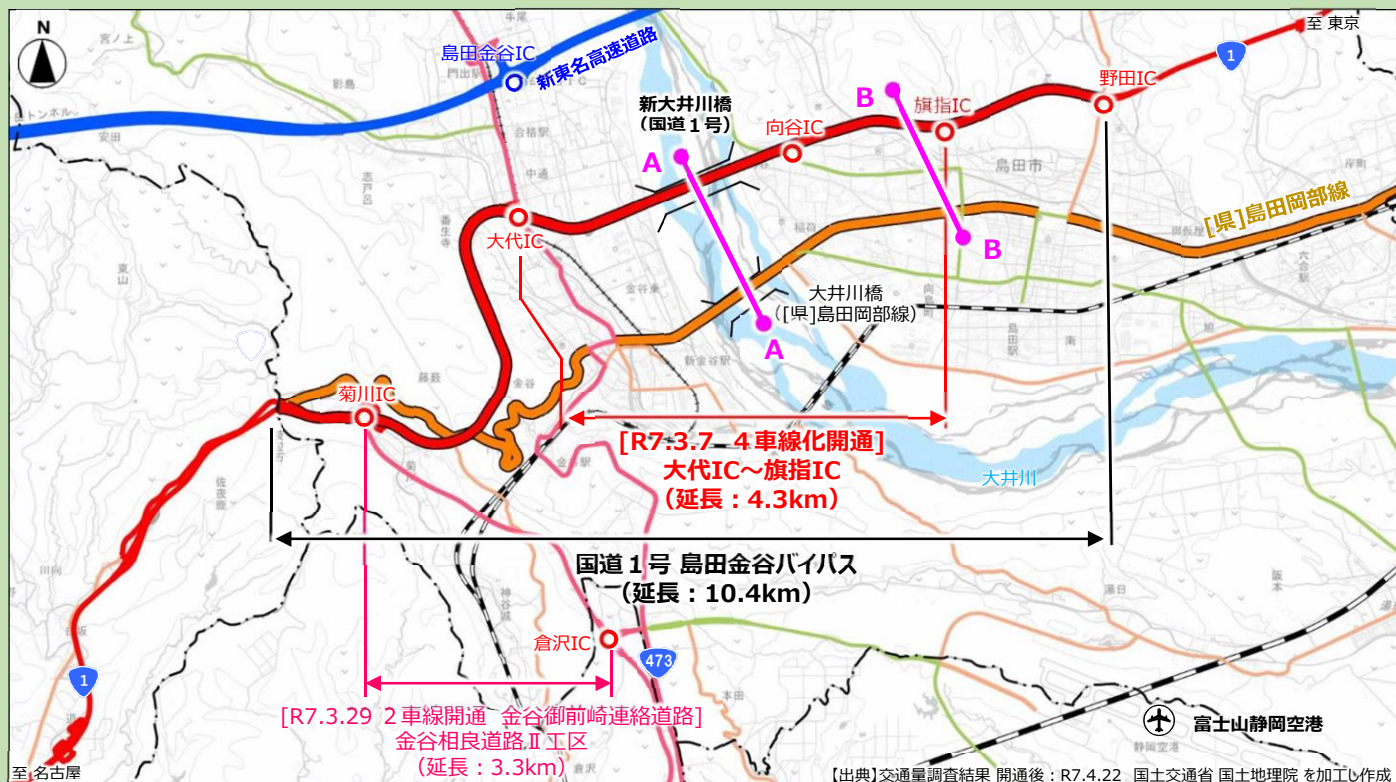
【出典】国土交通省 国土地理院 を加工し作成

開通後の整備効果

開通区間・並行路線の交通状況

- 4車線化整備により、島田金谷バイパスの開通区間の交通量が、朝ピーク時は約**1~2割増加**、夕ピーク時は約**0.6~1割増加**しました。
- 一方で、並行する[県]島田岡部線の交通量が、朝ピーク時は約**1割減少**、夕ピーク時は約**0.6~1割減少**しました。

WISNET2050への対応

経済成長・
物流強化低炭素で
持続可能な
道路の実現

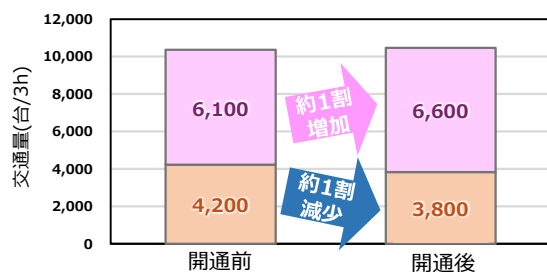
《開通前後の交通量変化》

【出典】交通量調査結果

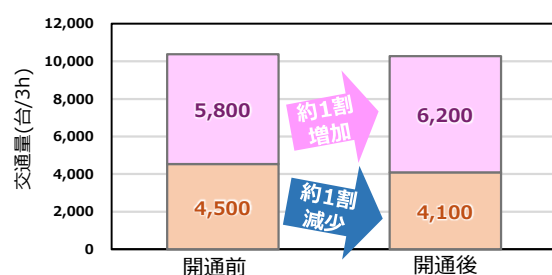
開通前: R6.11.28、開通後: R7.4.22

■ A断面

【朝ピーク時 (6時~9時)】

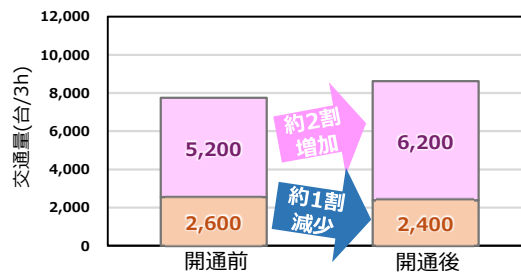


【夕ピーク時 (16時~19時)】

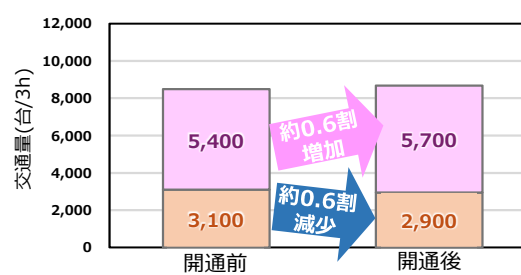


■ B断面

【朝ピーク時 (6時~9時)】



【夕ピーク時 (16時~19時)】



島田金谷バイパス [県]島田岡部線